

西土佐中学校 第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和4年6月15日(水) 第5校時
 生徒数 13名
 指導者 小田桐 裕樹
 兼松 成
 宮本 教子

I 単元構想図

単元名 「地域発見 ～地域を理解し、発信しよう～」 全 50時間
 小単元1 「課題設定に向けて、地域を巡り西土佐を再発見しよう」(27時間)

小単元1
 「課題設定に向けて、地域を巡り、西土佐を再発見しよう」(27時間)

小単元2
 「再発見した西土佐を発信しよう。」
 (23時間)

◆学習の流れ

きっかけ

小学校の学習で、星空特区を目指すことで地域が活気づくことを目指してきたが、実際に活性化につながっていると実感できていないことから、さらにどうしていくかを考え始めている。

第1次 課題の設定 (7時間)

小学校の学習や自分たち・地域の人々の思いをもとに探究課題をつくるにはどうすればよいのだろうか。

- 小学校での学習をふり返り、成果と課題を考える。
- 森林ふれあいセンターでの体験から、自分たちや西土佐の産業に携わる地域の人や住民の思いを知ることを通して、今後取り組む探究課題を設定することを理解する。
- 思考ツールの使い方や、総合の授業の進め方を知る。

- ◆自分や地域の人々の思いや地域の現状から、取り組むべき対象や課題を見出させる。(課題設定)
- ◆思考ツールの使い方等、探究の過程に応じた技能を身に付けさせる。(技能)

第2次 活動計画・検証方法の計画 (6時間)

地域の人々の西土佐への思いを知るための計画を立てよう。

- より、効果的で必要な情報は何かを考える。
- どんな人物やどこに行けば、自分たちが知りたいことがわかるのかを考える。
- 情報収集に必要な技能や手段を考える。

◆意識の流れ

- ・小学校で星空特区を目指した。
- ・地域の活性化になったかな。
- ・西土佐に人をもっと呼べないのだろうか。

- ・星空も自慢できるものだけでなく、観光客を増やすこと以外にも課題はあるだろうな。
- ・僕たちの西土佐への思いをもう一度考えてみよう。
- ・山に囲まれた西土佐地域の人たちは、どんなことにどんな思いで取り組んでいるのだろうか。
- ・地域の人々が困っていることは何？本当に取り組むべき課題は何なのだろうか。

- ・地域の人々の西土佐への思いはどのようなものか実態を知らないな。
- ・ネットの情報だけだったら他の人も調べられる。
- ・どのようなことをどのような方法で誰に聞けば、よりよい情報が収集できるのだろうか、そのために必要なことは何だろう。

◆自分や地域の人々の思いや地域の現状から、取り組むべき対象や課題を見出し、見通しを持って計画を立てさせる。これからのプランをいつ・どのように行っていくか具体的に計画を考えさせる。

(課題設定)

◆多様な情報の中から、自分達ができる、また自分たちにしかできない方法や手段を考えさせる。

(主体性・協働性)

第3次 情報の収集・活動 (9時間)

計画をもとに、実際に行動にうつして、地域の人に話を聞き、地域の声を知ろう。

○情報収集をするために、実際に活動する。

アンケート作成やインタビューなど。

◆目的に応じて情報収集の手段を選択させ、必要な情報を収集させる。(情報収集)

◆計画を実行する中で出てくる課題に対して、自分たちで主体的に課題解決に導けるように促す。(自己理解・他者理解)

第4次 整理・分析・まとめ (5時間)

地域の人々の思いをまとめ、そこから、探究課題を設定しよう。

○活動からわかったことを整理・分析していく。

○相手意識をもち、活動の効果を考察する。

○活動を振り返り、自己の変容や学習内容をまとめる。

◆相手意識を持たせ、誰に何を伝えることが大切なのか考えさせる。(整理・分析)(将来展望・社会参画)

◆活動したことを検証方法の計画に沿って分析できているか考えさせる。(整理・分析)

◆数値化やグラフ化して資料としてわかりやすいまとめになるように工夫させる。(まとめ・表現)

- ・西土佐の産業に携わる人たちはどのような思いを持っているのだろうか。
- ・西土佐の人々の思いを知ることで、自分たちも西土佐の役に立てないだろうか。
- ・こんな思いや宝があることを、ぼくたちはどう発信していけば活性化につながるだろうか。
- ・情報収集するには、さまざまな方法があるんだな。

- ・人々の思いを知ることで、さらに、西土佐の魅力や課題が見えてきたな。
- ・自分たちの考えと違う点もあったな。
- ・今回わかったことから、何に取り組んでいけば、より、自分たちの思いが実現でき、西土佐の活性化につながるのだろうか。
- ・誰にどう伝えることで、自分たちの思いがより伝わり、発展させて行けるのだろうか。

単元でつきたい力

- ・地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。
- ・情報を比較・分類・関連付ける、多面的に見るなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。【知識及び技能】
- ・自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・自他の考えを交流しながら、協働して探究活動に取り組もうとする【学びに向かう力、人間性等】

2 単元について

○単元観

生徒達は自分達の住んでいる西土佐地域について、小学校では地理的なことや、自然、食について学習してきている。中学校に入学し、今一度自分たちの住んでいる地域の産業に携わる人々の思いや課題に目を向け、今ある西土佐の自然や産業、歴史、人々の思いなどを再発見することで、子どもたち自身で今できることを考え、課題設定していくことをねらいとしている。

西土佐地域について、今後子どもたちがどういうふうになってほしいかなど、思いを形にする上でも、地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見つけてほしいと考える。

○生徒観

本学級の生徒は、様々なことに意欲的に取り組める生徒たちである。総合的な学習の時間では、深い思考の上、多様な視点を持った発言をしたり根拠をもとに発言したりすることができる生徒が多い。5月に実施した総合的な学習の時間授業アンケートでも、「総合的な学習の時間では、自分から積極的に話しかけたり、発言したりしている。」84.6%と、積極的に考えを述べたりすることができるのと捉えている生徒が多い。しかし、一部の生徒に発言が偏ったり、好きな活動はやれるが興味関心がないことへの取り組みが消極的になったりする場面も見られる。

また、「総合的な学習の時間は楽しい。」76.9%「総合的な学習の時間で取り組んでいる課題を、自分のこととして考えている。」77%など、全員が主体的に探究心や興味を持って取り組んでいるとは言えないことや、「地域や社会をよくするために何をしたらよいか考えたことがある」69.3%と、地域貢献への意識にも課題が見られる。

しかし、「自分の住んでいる地域が好きで、大事にしたいと思っている」92.6%、と地域に対する思いは高い数値となっており、地域への愛着はあるものと思われる。生徒の地域への思いと興味関心を重視した取り組みを行っていく。

○指導観

生徒達は、小学校で、西土佐地域の星空の美しさを守る活動を通して、自分達で地域の課題に向き合い、その解決に向けて取り組みを行ってきている。地域の方々や関係者の方々の努力や思い、つながりを知ることで、地域の現状を知り、自分にできることは何かを積極的に考える態度、そしてそこから地域の将来の理想を思い描きそこに向けて努力していこうとする態度の基礎はできているものと考えられる。

そこで、本年度はさらに探究課題の設定の深まりを目指して「本当に地域のためになり、地域の人々が解決したいと思っている課題は何なのか。」「地域の人々の本当の思いや実態を、自分たちは理解しているのか。」といった視点を持たせ、森林ふれあい推進センターでの体験等を通して、さらなる情報収集を行わせてうえて、探究課題を決定させたい。生徒の興味・関心や疑問を生かしながら、農業・林業・漁業・福祉・観光といった地域の職に携わる人々や住民の地域への思いや願いとその実態を知ることを通して、自分たちが取り組むべき探究課題が何なのかをより深く分析整理させたい。うえて課題設定につなげたい。

3 単元の目標

西土佐地域の産業に携わる人々の思いを知る活動をする中で、地域の課題について考えたり、事実をもとに考えたりする活動を通して、西土佐地域の人々の思いや願いに気づき、地域の一員として、地域の活性化のためにできることを積極的に考えようとするようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【態】
<p>①西土佐地域の現状や課題について理解し、地域の課題やそれに対する取り組みなどについて理解している。(知識)</p> <p>②収集した情報を多面的・多角的に見て、考えを具体化するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。(技能)</p> <p>③西土佐地域の現状や課題についての理解は、地域の自然環境とそこに関わる多様な人や産業との関係を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。(探究的な学習のよさ)</p>	<p>①自分や地域の人々の思いや地域の現状から、取り組むべき対象や課題を見出し、見通しを持って計画を立てている。(課題設定)</p> <p>②西土佐地域の現状や取り組みを情報収集する際に、目的に応じて情報収集の手段を選択し、必要な情報を収集している。(情報収集)</p> <p>③西土佐地域の現状の取り組みを知り、集めた情報を関連付けたり、事実を根拠として整理したり、分析している。(整理・分析)</p> <p>④整理・分析した情報を視点に応じて取捨選択しながらまとめ、相手にわかりやすく伝えている。(まとめ・表現)</p>	<p>①探究的、協働的な活動を通して、進んで地域の現状を捉えようとしている。(自己理解・他者理解)</p> <p>②立場の違う人の意見や、他者の考えを理解し、課題解決に向けて協働しようとしている。(主体性・協働性)</p> <p>③探究活動を通して、次の活動への展望を考えたり、地域の一員として自分にできることは何かを考えようとしている。(将来展望・社会参画)</p>

5 指導と評価の計画 (全27時間 本時 11/27)

次	時	ねらい・学習活動	評価の重点			評価方法
			知	思	態	
一	1 ~ 7	<p>○探究課題を設定するにはどのようなことが必要かを考えよう。</p> <p>・小学校での学習を振り返り、成果と課題を整理する。</p> <p>・森林ふれあい推進センターでの体験を通して、地域の産業の実態をより深く理解したり、地域の人々の思いを理解したりすることが、西土佐の良さや課題を知るために必要であることに気づく。</p>		①	① ③	タブレット ワークシート 行動観察 振り返り
		<p>○総合的な学習の進め方や、活動の仕方について知ろう。</p> <p>・話し合いの仕方や思考ツールの使い方を知る。</p>	②	②		
二	8 ~ 13	<p>○これからの活動計画を立てよう。</p> <p>・体験活動や資料等からの気づきから西土佐の産業に携わる人々や住民に、西土佐への思いや抱えている課題を聞くための計画を立てる。</p> <p>・必要な情報は何かを考え、どのような人にどのようなことをどのように聞くのがよいのか考える。</p>	①	①	②	タブレット ワークシート 行動観察 振り返り
三	14	<p>○計画をもとに情報収集し、実際に行動にうつしてみよう。</p>	②	②	①	タブレット ワークシート

		<ul style="list-style-type: none"> ・西土佐の産業に携わる人々や住民に、西土佐への思いや課題を聞く。 ・情報収集をする。 ・実際に活動する。 				行動観察 振り返り
四	23 5 27	<ul style="list-style-type: none"> ○活動をまとめ、探究課題を設定しよう。 ・活動からわかったことを整理・分析していく。 ・活動の効果を考察し、小単元2での探究課題を設定する。 ・活動を振り返り、自己の変容や学習内容をまとめる。 	③	③ ④	③	タブレット ワークシート 行動観察 振り返り

6 本時の指導

本時の目標	活動計画を基に、取り組むべき対象や課題、方法について再検討し、活動の見通しを持つ	
本時の評価規準	立場の違う人の意見や、他者の考えを理解し、課題解決に向けて協働しようとしている。 (主体性・協働性)【態】 自分や地域の人々の思いや地域の現状から、取り組むべき対象や課題を見出し、見通しを持って計画を立てている。(課題設定)【思】	
情報活用能力	問題解決のために、他者の考えを生かして、新しい考え方や方法を取り入れている。	
準備物	タブレット・テレビ・付せん	
学習の展開		
学習活動	意識の流れ	評価規準【評価方法】
1. 前時に考えためあてについて確認する。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・この活動計画で実行できるだろうか。 ・計画に無理はないだろうか。 	
めあて 活動計画の交流会を開き、グループの活動計画をよりよいものに見直そう。		
2. 活動計画の交流観点を確認する。(5分)	「よりよい」とは？ <ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿っているか→何のために？ (西土佐の山の課題や良い所を発見) ・効果的か →よりよい方法は？ を考えればいいんだな。 	
3. 交流会を開き、意見交流をする。(25分)	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの計画の良いところはどこだろうか。 ・目的に沿った活動計画になっているだろうか。 ・より効果が得られる活動計画になっているだろうか。 ・結果はどうなりそうか。 ・計画を実行するにあたって必要なことはどのようなことだろうか。 ・計画を実行するにあたり、どんな準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や地域の人々の思いや地域の現状から、取り組むべき対象や課題を見出し、見通しを持って計画を立てている。(課題設定)【観察】 ・立場の違う人の意見
①異なるテーマのグループ同士で活動計画を発表する。(付せん・タブレット)		
②交流観点に沿って、付せんを書き、意見を交流しあう。		

<p>4. 交流して気づいた計画実行までに必要なことや改善点を各自でノートに記入する。(5分)</p> <p>5. 各グループで意見を共有する。(5分)</p> <p>6. 本時の振り返りを行い、次時のめあてを立てる。(5分)</p>	<p>が必要なのだろうか。</p> <p>・この計画で実行可能だろうか。</p> <p>・電話をかける準備やインタビューする準備があるな。</p> <p>・インタビューの仕方に自信がないな。</p> <p>・計画の順序を考え直したい。</p> <p>・時間配分 等</p> <p>・活動を実行するまでに準備や改善策があることが分かった。</p> <p>・次の時間は活動実行までに必要な準備をしよう。</p>	<p>や、他者の考えを理解し、課題解決に向けて協働しようとしている。(主体性・協働性)【観察】</p>
---	---	---

7 板書計画

6/15 総合 11 時間目

めあて 活動計画の交流会を開き、グループの活動計画をよりよいものに見直そう。

・目的に沿っているか → 何のために?
西土佐の山の課題や良い所を発見

・効果的か → どのような効果が?

	+	-	考えられること
Aグループ			
Bグループ			
Cグループ			
Dグループ			

今日の流れ

1めあて
2グループ交流会
3個人
4班
5振り返り

今日の考え方

多面的に見る・
多角的に見る
理由づける
見通す
具体化する

次の時間

準備すること

- ・電話のかけかた
- ・インタビューの仕方等

改善すること

- ・時間配分
- ・順序の見直し